

第 47 号
発行所
関高等学校同窓会
岐阜県関市桜ヶ丘 2-1-1
郵便番号 501-3903
電話 (0575) 22 - 5688
FAX (0575) 23 - 7089

〈校訓〉
進取 至誠 錬磨

同窓会長挨拶



会長
堀部 哲夫

同窓生の皆様にはお元気で活躍のことと存じます。日頃は、同窓会にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。ご存じのように、関高校は6年後に100周年を迎えます。100周年に

学校長挨拶



学校長
加藤 昭二

同窓生の皆様には日頃から本校教育にご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。本校へ着任し、二年目となります。どうぞよろしくお願いたします。

関高は、今年度九十四年目を迎えました。大正の世から、昭和の時代を経て、平成の今日まで、その時々

向かって、その準備を確実に進めていかなければならない時期です。その為にやらなければならないことは3つあると思います。1つ目は関高同窓会の存在意義を明確にし、同窓生にとつて真に必要な組織にすること。2つ目は組織の強化を図り各地で活躍される同窓生の連携を強くすること。3つ目は財政的な基盤を確立し、100周年までに余裕のある予算を立てることです。

人情報の保護には充分注意しながら、各方面でご活躍されている同窓生の紹介や、仕事や災害時に同窓生同士が助け合うことが出来るような情報を提供することなどです。

2つ目は、組織の強化のため支部を増やしその活動を支援していくことです。東海3県には多くの同窓生が在住しておられます。東海支部を立ち上げるべく本部一丸となつてまいりました。その結果、本年11月29日には「関高校東海支部」の設立総会を開催出来る運びとなつてきました。今後も、必要に応じ近畿その他地域に支部を設立

の教育行政や制度により様々な変遷を重ねる中、取り巻く環境が変わつても、それぞれの時代に学ぶ生徒たちによって、伝統や本学の精神が受け継がれ、今日に至っています。これまで、二万三千名を超える卒業生がこの学び舎を巣立ち、社会の様々な分野で活躍をされています。

一方で、在校生は勉学だけでなく、強歩大会、球技大会等の学校行事や部活動をはじめ、文化・スポーツ活動にもそれぞれに若い力や獨創性を存分に発揮し、一生懸命取り組んでいます。文武両道の気風が重んじられ、私は関高校がそうした学校の姿や伝統などにより、地域の皆様にとつても魅力ある高等学校となつてい

さて、平成も二十七年、四半世紀以上が過ぎました。本校でも平成生まれの若者が教壇に立ち、先輩の先生の教えを仰ぎながら授業や部活動等の指導の過程で子どもたちの反応に一喜一憂しながらも、それぞれ熱心に取り組む姿があります。松尾芭蕉の俳諧の理念のひとつと称される「不易と流行」という言葉どおり、時代は変わつても教育は人なりで、先生という存在は教育にとつてもとても大切で変わらない本質(不易)であることは間違いありません。

今日、子どもたちを取り巻く社会環境や教育環境の変化は大きく、関高においても一人一人の高校生生活は私たち昭和の時代とは随分違います。生徒たちのもつ「不易」の部分

して行きたいと思えます。

3つ目は、財政基盤を盤石にすることです。会員数は、毎年増えていき「桜ヶ丘だより」の発行数は増えていきます。それでは財政基盤の確立は出来ません。一人でも多くの同窓生から会費を振り込んでいただけるよう改善をしていかなければなりません。しかし、なかなか難しく良い状態には向かつていません。

そこで、断腸の思いでは有りますが、本年度以降「桜ヶ丘だより」の発行を隔年とすることを決定致しました。その代わり、関高校のホームページの同窓会・同窓会報の中に「桜ヶ丘だより」のHP版を掲載したいと考えております。文末ではありますが会員の皆様には、会費を必ずお振込みください。ことと、関高校と関高同窓会に對しまして尚一層のご支援を賜りますようお願いしまして会長挨拶とさせていただきます。

を信頼し、毎日の教育をしっかりと行つてゆくことが本校で奉職する我々教師としての使命であると考えております。「スーパーグローバルハイスクール」の指定校として、二年目を迎えました。昨年度の成果と課題を踏まえ、今年度も生徒一人一人が社会の課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、多様な価値観を認めあえる人材の育成に務めているところです。

結びとしまして、さらなる歴史を刻む母校に對し、各界で御活躍の皆様から、一層のご尽力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さらなる充実をめざす
第7回関高OB展
関高OB展実行委員長
石原 通男(6回生)

関高OB第1回展を平成21年に開催しました。その後、歴史を積み重ねてきました。第6回展を、昨年9月より8日間におたり、関市本町7丁目 古民家画廊山麓(5回生 細瀬明世氏の生家)において開催しました。出品者53名により85点の出品がありました。

6回展で特筆すべきことは、在校生6名が絵画、書道部門に出品してくれたことでした。絵画部門には小川裕夏・林泰平(2年生)、清水彩加(3年生)、書道部門には、加藤綾華・福田はるか・宮木万里亜(いずれも3年生)の皆さんが出品してくれました。

これは加藤昭二校長の熱心な働きかけにより実現したものです。世代間の交流が希薄になりつつある昨今、こうした催しに在校生に積極的な参加を促す働きかけをしていただいた加藤校長の熱意に敬意を表するものです。

さらに今回より、能面とステンドグラスの出品が加わりました。能面は関市の春日神社に所蔵されている能面(重要文化財)の影響もあつてか、面打ちを得意とする同窓生からの出品でした。

関高OB展は、地域性をふまえ刀剣部門を設けています。

おそらく、全国のOB展を見ても刀剣部門があるのは本展だけではないでしょうか。今年も第7回展を、9月27日から8日間の開催を予定しています。

同窓生および在校生の皆さんから、充実した作品の出品を期待しています。

お問い合わせは、事務局までお願いします。後日申込用紙を送付します。

問い合わせ先:
細瀬明世(5回生)
電話058-2323-8932
平野義文(17回生)
電話0575-2216455

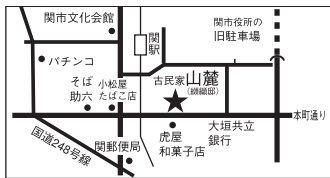
世代を超えた芸術の絆

第7回 関高OB 美術展

関高校(武儀高女)卒業生の交流と親睦、芸術の普及等を目的とした美術展を開催します。

関高OBの芸術を古民家で展示
(第6回展は出品者59名、
来場者700名で大盛況でした。)

日時：平成27年9月27日(日)～10月4日(日)
午前10時～午後5時 最終日は午後4時まで
開催場所：古民家 山麓 (関市本町7-13)
部門：絵画、書、写真、陶芸、デザイン、刀剣、能面、ステンドグラス
主催：関高校OB美術展実行委員会
後援：岐阜県立関高校同窓会
お問合せ先：電話 0575-22-6455 平野義文(17回生)



卒業生の進路状況

卒業年度	26	25	24	23	22
卒業者数	280	276	281	279	312
国立大学	151	117	143	126	153
私立大学	756	602	737	647	668
東京大学	0	1	2	1	0
京都大学	3	3	7	0	5
名古屋大学	19	9	18	10	15
大阪大学	2	2	2	4	3
岐阜大学	25	19	24	17	40
早稲田大学	10	8	15	9	10
慶應義塾大学	4	4	8	8	5
南山大学	62	51	38	41	51
名城大学	88	75	63	64	41
立命館大学	51	49	56	58	88
同志社大学	29	17	45	31	33

※合格者の多い大学のみ掲載しました。

昨年度入試を振り返って

全体の約5割が国立公立四大、さらに約1割強が難関私立大学に進学しています。生真面目な学習姿勢を3年間貫き通した学年でした。進学後、そして就職後のさらなる発展に期待したいと思います。

第67回生(平成27年3月卒業) 同窓会クラス幹事

学年幹事	7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組
安田早希	河野百音	塚原子歩	武原亮未	川村彩花	磯貝卓海	足立みつき	安田早之
足立早希	深川晃平	井藤由希	長谷部奈祐	福岡晃帆	坂本倫太郎		

写真・第6回展開場式であいさつする加藤昭二校長(左端)と尾関健治関市長(43回生)



岐阜支部総会開催のご案内

岐阜支部第七回総会及び懇親会を左記のとおり開催します。母校の情報やご指導頂いた先生方との懇談、お楽しみ会や同期生を誘ってご参加ください。また、卒業年次にかかわらず、また他支部からのご参加も歓迎します。

記

- ・日時 平成二十七年九月二十七日(日) 午前十一時より (受付 午前十時三十分から)
- ・場所 岐阜市長良川畔 岐阜グランドホテル (〇五八(二三三)一一一・二二二)
- ・会費(懇親会費) 八千円
- ・申込・問い合わせ先 ①岐阜支部事務局 第十一回生 吉田 徹 (〇五八(二三三)二二五七)
- ②学年当番幹事代表 第十九回生 村瀬 春峰 (〇五八三(八二)三九五四)
- 第二十回生 富松喜久恵 (〇五八一(二二)二五六六)

平成27年度同窓職員異動

【転入】	【転出】
教諭(家庭) 林 智子(高30)	事務職員 後藤 純子(高29)
事務職員 小森 美紀(高34)	事務職員 杉村 尚美(高45)
教諭(英語) 亀谷みゆき(高37)	
実習助手 石原 貴子(高42)	
教諭(英語) 市原 賢優(高50)	

おくやみ

二階堂 保 先生
ご冥福をお祈りします。

編集後記

▼郵送料値上げのため、本年度より紙面での発行を隔年とすることになりました。悪しからずご了承ください。また、会費の納入にご協力ください。

▼転居・市町村合併等による町名や地番の変更により、会員の皆様へのご連絡や「桜ヶ丘だより」のご送付に支障が生じております。また、個人情報保護が叫ばれる昨今の状況も考慮いたしますと会員名簿の作成・発行は非常に困難になっております。つきましては、各学年の幹事の皆様やご本人からの情報を事務局までお知らせいただけると幸いに存じます。何卒よろしくお願いいたします。

▼同窓会開催の折には、事務局までお知らせください。補助金をご援助しております。

▼会報掲載用の原稿を募集しております。同窓会員の皆様のご活躍の様子や、同窓会での交歓のひととき等の記事をお写真とともにお寄せください。(お写真はお返しします。)

